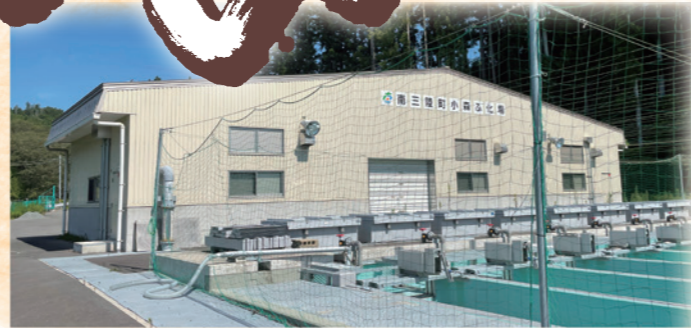


# ぜんまい

令和6年 10月  
第74号



大崎市岩出山を流れる農業用水路「内川」世界かんがい施設遺産



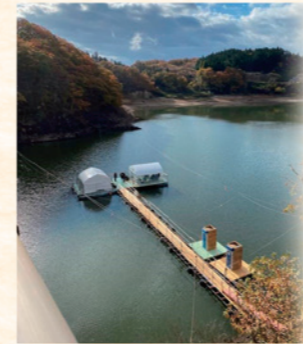
東日本大震災から復興したサケのふ化場



北上川水系源流イワナ釣り



広瀬川アユ釣り



花山漁協ワカサギドーム



江合川ヤマメ



広瀬川ヤマメ



広瀬川アユ



名取川アユ

写真：宮城県内水面漁連傘下漁協提供

## information

令和6年度 第65回

### 全国内水面漁業振興大会

日時：令和6年11月14日(木)

場所：大会：江陽グランドホテル(宮城県：仙台市)

漁業者(会員漁連の傘下漁協組合員  
漁業者以外の購読者)

年間契約「四回発行」定価三〇〇円本体二七八円送料サービス  
年間契約「四回発行」定価三二〇〇円本体二九一〇円送料サービス

単品定価七五〇円本体六八二円送料別  
単品定価八〇〇円本体七二八円送料別

## CONTENTS

巻頭言	2	内水面での思い出	22
全内漁連開催の各会議について		新任着任のご挨拶	23
総務委員会・理事会を開催	4	内水面漁協(第44回)	24
ブロック会議を開催	4	愛しきアユ(第47回)	25
みんなでやるぞ内水面漁業活性化事業の総合評価		漁協組合員を紹介します	26
検討委員会等を開催	6	水産多面的機能発揮対策支援事業	28
第23回全国川づくり標語コンクール	8	日光支所から	29
カワウ被害対策におけるドローンの研修会を開催	10	新会長の紹介	30
第47回全国養鱒技術協議会大会	11	業務日誌	30
我が水産試験場(鳥取県栽培漁業センター)	12	職員のつぶやき	31
我が水産多面的活動(高知県 鏡川環境保全の会)	16	新聞記事から	31
気になる研究結果(栃木県立馬頭高校)	18	編集後記	31
令和6年度からのカワウ被害対策の考え方について	20		

# 水産多面的機能発揮対策支援事業

令和6年度水産多面的機能発揮対策支援委託事業に係る地域講習会(京都府)

令和6年7月27日

(土)に京都府京丹後市丹後町の平住民センターにおいて、公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会による水産多面的機能発揮対策支援事業における地域講習会が開催されました。

講師は、茨城県水産試験場内水面支場の丹羽晋太郎増殖部長。講習会では「アユ産卵場造成等による資源回復へのアプローチ」と題し、丹羽氏が天然アユ資源を増やす取り組みとして「アユの産卵場造成」に着目して、地先環境に応じた茨城県独自の、簡易で効果的な産卵場造成技術を開発して技術普及



講師の丹羽晋太郎氏



座学講習会 参加者は熱心に受講しました



座学後に川の視察もおこないました

を進めていることや、産卵場造成技術の具体的取り組み事例や波及効果等についてご紹介いただきました。公演後、会場の脇を流れる宇川の視察を行い、具体的な実施方法についても指導いただきました。(写真提供：公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会)

**多面的機能発揮技術サポート専門家として茨城県水産試験場内水面支場の丹羽晋太郎氏が登録されました**

この度、前述の地域講習会の講師を務められた丹羽晋太郎氏(茨城県水産試験場内水面支場)が、新たに多面的機能発揮技術サポート専門家として登録されました。地元茨城県では、内水面で活動する多面的活動組織や漁協と一緒に、アユの産卵場を造成してきた経験をお持ちです。

丹羽氏の登録により、内水面に関わるサポート専門家は10人となりました。多面的活動への個別サポートへのご希望がございましたら、本会へご相談ください。

**令和6年度水産多面的機能発揮対策講習会Web運営編講習会が開催されました**

令和6年7月30日(火)に公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会による「令和6年度水産多面的機能発揮対策講習会Web運営編講習会」が開催されました。

全国で水産多面的機能発揮対策事業に携わる活動組織の担当者、運営・技術サポート専門家、対策支援事業事務局、水産庁等が参加し、漁港漁場整備部計画課企画班保全活動支援係長の海田馨氏係長による「水産多面的機能発揮対策事業の運営について」、運営サポート専門家の菅啓二氏による「サポート専門家派遣における運営のサポート状況」として、活動報告日誌や写真記録の取り方、交付金申請に関する書類整理にかかわる注意点について講義いただきました。

**サポート専門家を派遣しました**

鹿児島県出水市の高尾野川で活動している活動組織である「高尾野川をきれいにする会」からの要請により、技術サポート専門家の稲田善和氏(九州・水生生物研究所)を派遣いたしました。

「高尾野川をきれいにする会」は、出水市青年の家・出水市子ども会育成連絡協議会と共催により令和6年度「わんぱくトライアル」事業の一環として、市内の子供とその保護者を対象に「アユ取り体験・川遊び」を行っております。今回、その事前学習として市内の小学4年生から中学3年生の32名とその保護者、事業スタッフ9名、高校生ボランティア6名を対象に、稲田サポートがアユの特徴や生態に関する座学講話を行いました。また、外来動植物やプラスチックゴミの問題、地球上の淡水の重要性といった環境に関する話題も取り上げ、地元河川の自然を知り、環境を守る心を育む機会となりました。

## 奥日光

東京からも近く、昔から人気の観光地である奥日光は、とても涼しい避暑地として知られており、多くの観光客が訪れます。しかしながら、奥日光でも、近年平均気温が上昇しており、それに伴って湯ノ湖や湯川の水温も上昇、魚の活性が下がることで釣果も悪くなっているようです。湯川ではお盆の季節になると例年涼しくなり水温も下がりますが、今年は9月頃まで暑さが続きました。

## 湯ノ湖での釣り大会

令和6年8月3日、湯ノ湖夏の釣り大会「サマートラウトフィッシングフェスタ」を行いました。このところの猛暑で水温が上がってしまい、苦戦を強いられる状況のなか、ニジマスの部は53・9cmの大型ニジマスを釣り上げた方が優勝しました。当日は約140名の方々が夏の湯ノ湖での釣りを楽しんでいました。

越えの大型を釣り上げるなど大人顔負けの釣果をあげ、湯ノ湖に子どもたちの元気な声が響いていました。



大型ニジマスを釣り上げいい笑顔です

9月21日には「ファイナルトラウトフィッシングフェスタ」を行い、湯ノ湖・湯川では、9月30日をもって釣りの期間が無事に終了しました。

## 日光支所から



湯滝でのフライフィッシング

夏休み中は、家族連れ釣りの客も多く訪れます。小学生のお子さんも35cm



釣り大会では入賞者に日光彫の盾を贈呈

禁漁後の10月6日(日)に、湯川に感謝し水辺環境を守るため、釣り人と協働で「湯川・リバークリーン」を行う予定です。水辺に木々の多い湯川では、枝先に釣り糸がからむことが多く、川の中に入った木に登ったりして釣りゴミの除去作業を行う必要があります。毎年釣りシーズンが終わった時期に川の清掃を行っています。